

大会運営に関する注意及び禁止事項

各チーム責任者（監督）は会場に到着したらその旨を大会本部へ報告する。

ベンチの使用は組み合わせ番号の若番が一塁側を使用する。

打順表の提出

第一試合は試合開始予定時刻の30分前までに、第二試合以降は、前の試合の2回終了時までには監督と主将は大会本部へ提出し攻守を決定する。

ブルペンの使用

次の試合の先発バッテリーは、攻守決定後、ブルペンを使用することができる。

ノック時のボール渡しは必ずヘルメットを着用のこと。

球場内での素振りは禁止する。

監督、コーチ、選手全員が帽子、ユニフォーム、アンダーシャツ、ソックス及び用具装具は競技者必携（黄色いページの41頁の第12条3項以降）記載通り順守すること。

合同チームによるユニフォームが不揃いでも背番号は重複しないこと。

守備の時間が長い場合には、健康維持を考慮し審判員の判断で給水タイムを設けることとする。ベンチに入れる人員については競技者必携44頁少年部、学童部の6項とする。

競技運営上の注意事項

- ① 攻守交代は、駆け足でスピーディーに行うこと。
監督が、選手のもとへ往き来する場合も小走りでスピーディーに行うこと。
- ② 次打者席では投手が投球姿勢に入ったら素振りをしてはならない。投手も次打者席に入ること。
- ③ 投球を受けた捕手は、その場から速やかに投手に返球すること。
- ④ 捕手から返球を受けた投手は、速やかに投手板に触れて投球姿勢をとること。
- ⑤ 攻守交代時に、最後のボール保持者は、投手板にボールを置いてベンチに戻ることに。
ボールをマウンド付近に転がしておかないこと。
- ⑥ 内野手間のボール回しは、一回りとする。（状況によっては、中止することもある。）
最後にボールを受けた野手は定位置から速やかに投手に返球すること。
- ⑦ 選手や審判員に対する聞き苦しい野次は厳禁する。またスタンドからの応援団の野次及び目に余る行為はチームの責任とする。
- ⑧ ベンチ及びスタンド等のごみなどは、各チームの責任において必ず持ち帰ること。
- ⑨ 試合終了後のグラウンド整備は、両チームで速やかに行うことを原則とする。